臺灣總督府

中央研究所農業部彙報

第六十八號

肉豚の酒粕利用飼養試驗成績

臺灣總督府中央研究所

昭和四年十一月

本彙報は酒粕に甘藷蔓を加へたるものを基礎とし之に甘藷、麬、米糠、大豆粕を夫々配合したるものを飼料とし肉豚の發育試驗を行へる比較成績を記述せるものにして本島養豚事業の參考に資するところ不尠と信し茲に印刷に附す

昭和四年十一月

臺灣總督府中央研究所農業部長
農學博士　大島金太郎

臺灣總督府
中央研究所 農業部彙報 第六十八號

肉豚の酒粕利用飼養試驗成績 目次

頁

一 緒 言……1 33.3.0

二 供試豚……2 33.4.0

三 飼料及飼養法……2

四 管 理……14 33.5.0

五 生體重の秤量……15 33.6.0

六 增體重と飼料の澱粉價及其價額……24 33.7.0

七 收支計算……26 33.8.0

八 屠殺及解體……27 33.9.0

九 總 括……31 33.10.0

附錄 本島に於ける酒粕生產高 33.11.0

肉豚の酒粕利用飼養試驗成績

技手　佐土原喜熊

一　緒　言

本島に於ける酒粕の豚に對する飼養試驗成績に關しては、晨に刋行せる「養豚試驗成績」(臺灣總督府農事試驗場特別報告第七號)中に發表せられ、酒粕の單用は發育不良にして經濟上不利益なるを以て他の濃厚飼料を加與するに非ざれば飼料としての價値に乏しきことを報せり。

茲に於て、本試驗に於ては、酒粕に如何なる飼料を配合せば最も有利なるやを知らんが爲、先づ酒粕に甘藷蔓を配合したるものを基礎とし、之に甘藷、麬、米糠、大豆粕を夫々配合したるものゝ4種に就き、何れが最も經濟的價値を有するやを究め、以て養豚家の參考に資せんとす。

試驗の方法は、生後同一飼養管理を行ひ榮養狀態竝に體重略ぼ同一なるものに就き、生後4箇月目(生後91日)より規定の飼料を與へて8箇月間飼養し最終8週間肥育法を施して、其發育狀態竝に飼料消費量を調査したる後屠殺解體の上各部の重量及肉質脂肪等につき比較研究をなせり。

試驗豚の飼料は「ケルネル」氏肉豚の飼養標準に基き給與せり。但飼料配合の都合上成分の總てを該標準に一致せしむること困難なりしを以て、主として澱粉價を之に一致せしむることゝしたり。

尙本試驗に於て酒粕と稱するは、臺灣總督府專賣局にて製造せらるゝ燒酎粕、米酒粕、紅酒粕等の混合せられたるものにして、內地に於ける燒酎粕(原料を米とせる)と略ぼ同樣なるものなり。

二 供試豚

本試驗に供したる豚は「バークシャー」種にして、發育狀態略ぼ同一にして且健康なるものを選びたり。

區分	番號	性	生年月日	產地	去勢年月日
甘藷加與區	1	剦	昭和二年一月五日	當部	昭和二年四月五日
	2	剦	同	同	同
	3	奄	同	同	同
	4	奄	同	同	同
麬加與區	5	剦	昭和三年二月二十八日	同	昭和三年五月二十七日
	6	奄	同	同	同
	7	奄	同	同	同
米糠加與區	8	剦	同	同	同
	9	奄	同	同	同
大豆粕加與區	10	剦	同	同	同
	11	奄	同	同	同

三 飼料及飼養法

本試驗に供したる飼料の可消化養分竝に其配合法は次の如し。

1 飼料の可消化養分含有量 （百分中）

飼料名	固形物	粗蛋白質	粗脂肪	炭水化物	澱粉價
酒粕	5.7	0.6	0.9	2.3	4.8
甘藷蔓	11.9	0.9	0.1	4.4	4.7
甘藷	24.1	0.8	0.1	19.1	19.8
麬	87.8	11.3	3.0	39.7	42.6
米糠	87.4	6.8	10.2	38.2	68.4
大豆粕	89.0	40.7	4.6	29.4	74.9

備考　飼料の成分に就ては便宜上大豆粕、麬は「ケルネル」氏、米糠及甘藷は一般分析表、甘藷蔓及酒粕は當部析分のものによることゝせり。

2 飼料の配合 （體重百瓩に對する日量）

（イ） 甘藷加與區

品目		自第一期至第四期（生後5箇月未滿）	自第五期至第六期（生後6箇月未滿）	自第七期至第十二期（生後10箇月未滿）	自第十三期至第十六期（肥育前期）	自第十七期至第二十期（肥育後期）
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
酒粕		40,000	35,000	35,000	35,000	35,000
甘藷蔓		3,000	2,000	2,000	2,000	2,000
甘藷		6,000	4,500	3,500	5,000	4,300
榮養價	粗蛋白質	31.5	26.4	25.6	26.8	26.2
	澱粉價	3,249	2,665	2,467	2,764	2,625
	榮養率	9.6	9.3	8.8	9.5	9.2

（ロ） 麬加與區

品目		自第一期至第四期（生後5箇月未滿）	自第六期至第五期（生後6箇月未滿）	自第七期至第十二期（生後10箇月未滿）	自第十三期至第十六期（肥育前期）	自第十七期至第二十期（肥育後期）
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
酒粕		40,000	35,000	35,000	35,000	35,000
甘藷蔓		3,000	2,000	2,000	2,000	2,000
麬		2,790	2,090	1,630	2,320	2,000
榮養價	粗蛋白質	58.2	46.4	41.2	49.0	45.4
	澱粉價	3,250	2,664	2,468	2,762	2,626
	榮養率	5.4	5.5	5.7	5.4	5.5

（ハ） 米糠加與區

品目		自第一期至第四期（生後5箇月未滿）	自第五期至第六期（生後6箇月未滿）	自第七期至第十二期（生後10箇月未滿）	自第十三期至第十六期（肥育前期）	自第十七期至第二十期（肥育後期）
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
酒粕		40,000	35,000	35,000	35,000	35,000
甘藷蔓		3,000	2,000	2,000	2,000	2,000
米糠		1,730	1,300	1,010	1,450	1,240
榮養價	粗蛋白質	38.5	31.6	29.7	32.0	31.2
	澱粉價	3,244	2,662	2,465	2,766	2,622
	榮養率	7.5	7.5	7.4	7.5	7.5

（ニ） 大豆粕加與區

品目	自第一期至第四期（生後5箇月未滿）	自第五期至第六期（生後6箇月未滿）	自第七期至第十二期（生後10箇月未滿）	自第十三期至第十六期（肥育前期）	自第十七期至第二十期（肥育後期）
	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
酒粕	40,000	35,000	35,000	35,000	35,000
甘藷蔓	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000
大豆粕	1,580	1,180	920	1,320	1,130
榮養價 粗蛋白質	91.0	70.8	60.2	76.5	68.8
榮養價 澱粉價	3,244	2,658	2,463	2,763	2,620
榮養價 榮養率	2.7	2.9	3.2	2.8	3.0

備考　自第一期至第十二期各期は半月（第十二期に限り期日の都合上十九日とした
り）自第十三期至第二十期に至る各期は七日と定めたり以下之に準す。

飼料の調理及給與の方法は全期を通して一樣に行ひ、毎日之を秤量せり。而して甘藷及甘藷蔓（1寸內外に截りたるもの）は之を煮熟し、大豆粕は碎きて1日間水に浸して軟かにし、米糠及麩は熱湯を注ぎて軟泥狀となしたるものを各々混和して濃厚なるものとなし、給與に際し微温湯にて適度に之を稀釋したる後給與せり。

試驗に給與したる配合飼料の毎期1日分量は其期の初めに於て秤量したる體重により算出給與したるも、採食の狀態竝に體勢等により多少參酌加減せり。今各區に給與したる飼料の毎期に於ける1日の給與量及其總量を擧ぐれば次の如し。

3　飼料給與量

（イ） 甘藷加與區（4頭分）

期次	月日	1日給與量 酒粕	1日給與量 甘藷蔓	1日給與量 甘藷	毎期總給與量 酒粕	毎期總給與量 甘藷蔓	毎期總給與量 甘藷
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
第一期	昭和二年 自四月六日至四月二十日（91—106）	22,844	1,713	3,426	342,660	25,695	51,390
第二期	自四月二十一日至五月五日（107—121）	27,900	2,092	4,185	418,500	31,380	62,775
第三期	自五月六日至五月二十日（122—136）	33,300	2,497	4,995	499,500	37,455	74,925
第四期	自五月二十一日至六月五日（137—152）	37,500	2,812	5,625	600,000	44,992	90,000
第五期	自六月六日至六月二十日（153—167）	35,962	2,055	4,623	539,430	30,825	69,345
第六期	自六月二十一日至七月五日（168—182）	40,820	2,332	5,248	612,300	34,980	78,720
第七期	自七月六日至七月二十日（183—197）	45,808	2,617	4,580	687,120	39,255	68,700
第八期	自七月二十一日至八月五日（198—213）	50,529	2,887	5,053	808,464	46,192	80,848
第九期	自八月六日至八月二十日（214—228）	56,175	3,210	5,617	842,625	48,150	84,255
第十期	自八月二十一日至九月五日（229—244）	63,262	3,615	6,326	1,012,192	57,840	101,216

期次	月日	1日給与量 酒粕 (瓦)	1日給与量 甘藷蔓 (瓦)	1日給与量 甘藷 (瓦)	毎期総給与量 酒粕 (瓦)	毎期総給与量 甘藷蔓 (瓦)	毎期総給与量 甘藷 (瓦)
第十一期	昭和二年 自九月六日至九月二十日 (245—259)	69,562	3,975	6,956	1,043,430	59,625	104,340
第十二期	自九月二十一日至十月九日 (260—278)	78,095	4,462	7,809	1,483,805	84,778	148,371
第十三期	自十月十日至十月十六日 (279—285)	90,037	5,145	12,862	603,259	36,015	90,034
第十四期	自十月十七日至十月二十三日 (286—292)	93,317	5,332	13,331	653,219	37,324	93,317
第十五期	自十月二十四日至十月三十日 (293—299)	95,812	5,475	13,687	670,684	38,325	95,809
第十六期	自十月三十一日至十一月六日 (300—306)	97,783	5,587	13,969	684,481	39,109	97,783
第十七期	自十一月七日至十一月十三日 (307—313)	101,321	5,789	12,448	709,247	40,523	87,136
第十八期	自十一月十四日至十一月二十日 (314—320)	101,321	5,789	12,448	709,247	40,523	87,136
第十九期	自十一月二十一日至十一月二十七日 (321—327)	110,775	6,330	13,609	775,425	44,310	95,263
第二十期	自十一月二十八日至十二月四日 (328—334)	115,762	6,615	14,222	810,334	46,305	99,554
計					14,532,922	863,601	1,760,917

備考　1. 表中第一期より第十二期までは普通飼養、第十三期より第二十期までは肥育飼養とす。以下之に準す。
2. 月日の欄中括孤内は供試豚の生後日数を示す。以下之に準す。

(ロ) 麩加与区（3頭分）

期次	月日	1日給与量 酒粕 (瓦)	1日給与量 甘藷蔓 (瓦)	1日給与量 麩 (瓦)	毎期総給与量 酒粕 (瓦)	毎期総給与量 甘藷蔓 (瓦)	毎期総給与量 麩 (瓦)
第一期	昭和三年 自五月二十九日至六月十三日 (91—107)	17,240	1,293	1,202	275,840	20,688	19,232
第二期	自六月十四日至六月二十八日 (108—122)	19,640	1,473	1,370	294,600	22,095	20,550
第三期	自六月二十八日至七月十三日 (123—137)	23,080	1,731	1,610	346,200	25,965	24,150
第四期	自七月十四日至七月二十八日 (138—152)	26,760	2,007	1,866	401,400	30,105	27,990

期次	月日	1日給與量			毎期總給與量		
		酒粕	甘藷蔓	藪	酒粕	甘藷蔓	藪
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
	昭和三年						
第五期	自七月二十九日至八月十三日 (153—168)	27,160	1,552	1,621	434,560	24,832	25,936
第六期	自八月十四日至八月二十八日 (169—183)	30,975	1,770	1,850	464,625	26,550	27,750
第七期	自八月二十九日至九月十三日 (184—199)	33,950	1,940	1,581	543,200	31,040	25,296
第八期	自九月十四日至九月二十八日 (200—214)	33,950	2,250	1,834	509,250	33,750	27,510
第九期	自九月二十九日至十月十三日 (215—229)	39,375	2,568	2,093	590,625	38,520	31,395
第十期	自十月十四日至十月二十八日 (230—244)	44,940	2,880	2,347	674,100	43,200	35,205
第十一期	自十月二十九日至十一月十三日 (245—260)	50,400 碎米 3,360	3,380	2,754	504,000 碎米 16,800	54,080	44,064
第十二期	自十一月十四日至十二月二日 (261—279)	59,150	3,380	2,754	1,123,850	64,220	52,326
第十三期	自十二月三日至十二月九日 (280—286)	60,900	4,024	4,667	426,300	28,168	32,669
第十四期	自十二月十日至十二月十六日 (287—293)	70,420	4,292	4,978	492,940	30,044	34,846
第十五期	自十二月十七日至十二月二十三日 (294—300)	75,110	4,564	5,294	525,770	31,948	37,058
第十六期	自十二月二十四日至十二月三十日 (301—307)	79,870	4,620	5,359	559,090	32,340	37,513
第十七期	自十二月三十一日至昭和四年一月六日 (308—314)	80,850	4,784	4,784	565,950	33,488	33,488
第十八期	自一月七日至一月十三日 (315—321)	83,720 碎米 5,021	4,948	4,948	251,160 碎米 20,084	34,636	34,636
第十九期	自一月十四日至一月二十日 (322—328)	86,590	5,220	5,220	606,130	36,540	36,540
第二十期	自一月二十一日至一月二十七日 (329—335)	86,590	5,220	5,220	606,130	36,540	36,540
計					10,195,720 碎米 36,884	678,749	649,694

備考　試驗期間中第十一期5日間、第十八期4日酒粕缺乏の爲、碎米を代用したり。以下之に準す。

(ハ) 米糠加與區 (2頭分)

期次	月日	1日給與量			毎期總給與量		
		酒粕	甘藷蔓	米糠	酒粕	甘藷蔓	米糠
	昭和三年	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
第一期	自五月二十九日至六月十三日 (91—107)	11,720	879	507	187,520	14,064	8,112
第二期	自六月十四日至六月二十八日 (108—122)	13,400	1,005	580	201,000	15,075	8,700
第三期	自六月二十九日至七月十三日 (123—137)	15,720	1,179	680	235,800	17,685	10,200
第四期	自七月十四日至七月二十八日 (138—152)	17,200	1,290	744	258,000	19,350	11,160
第五期	自七月二十九日至八月十三日 (153—168)	17,500	1,000	650	280,000	16,000	10,400
第六期	自八月十四日至八月二十八日 (169—183)	20,020	1,144	744	300,300	17,160	11,160
第七期	自八月二十九日至九月十三日 (184—199)	21,700	1,240	626	347,200	19,840	10,016
第八期	自九月十四日至九月二十八日 (200—214)	21,700	1,504	760	325,500	22,560	11,400
第九期	自九月二十九日至十月十三日 (215—229)	26,320	1,702	860	394,800	25,530	12,900
第十期	自十月十四日至十月二十八日 (230—244)	29,785	1,848	933	446,775	27,720	13,995
第十一期	自十月二十九日至十一月十三日 (245—260)	32,340 碎米 2,170	2,172	1,097	323,400 碎米 10,850	34,752	17,552
第十二期	自十一月十四日至十二月二日 (261—279)	38,010	2,172	1,097	722,190	41,268	20,843
第十三期	自十二月三日至十二月九日 (280—286)	38,780	2,588	1,876	271,460	18,116	13,132
第十四期	自十二月十日至十二月十六日 (287—293)	45,290	2,800	2,030	317,030	19,600	14,210
第十五期	自十二月十七日至十二月二十三日 (294—300)	49,000	2,892	2,096	343,000	20,244	14,672
第十六期	自十二月二十四日至十二月三十日 (301—307)	50,610	2,980	2,160	354,270	20,860	15,120
第十七期	昭和四年 自十二月三十一日至一月六日 (308—314)	52,150	3,120	1,934	365,050	21,840	13,538
第十八期	自一月七日至一月十三日 (315—321)	54,600 碎米 3,326	3,280	2,034	163,800 碎米 13,304	22,960	14,238
第十九期	自一月十四日至一月二十日 (322—328)	57,400	3,380	2,096	401,800	23,660	14,672
第二十期	自一月二十一日至一月二十七日 (329—335)	57,400	3,380	2,096	401,800	23,660	14,672
計					6,640,695 碎米 24,154	441,944	260,692

(二) 大豆粕加與區 (2頭分)

期次	月日	1日給與量 酒粕	1日給與量 甘藷蔓	1日給與量 大豆粕	每期總給與量 酒粕	每期總給與量 甘藷蔓	每期總給與量 大豆粕
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
第一期	昭和三年 自五月二十九日至六月十三日 (91—107)	11,520	864	455	184,320	13,824	7,280
第二期	自六月十四日至六月二十八日 (108—122)	13,840	1,038	547	207,600	15,570	8,205
第三期	自六月二十九日至七月十三日 (123—137)	17,320	1,299	684	259,800	19,485	10,260
第四期	自七月十四日至七月二十八日 (138—152)	20,680	1,551	817	310,200	23,265	12,255
第五期	自七月二十九日至八月十三日 (153—168)	20,545	1,174	693	328,720	18,784	11,088
第六期	自八月十四日至八月二十八日 (169—183)	23,940	1,368	807	359,100	20,520	12,105
第七期	自八月二十九日至九月十三日 (184—199)	27,580	1,576	709	441,280	25,216	11,344
第八期	自九月十四日至九月二十八日 (200—214)	27,580	1,846	830	413,700	27,690	12,450
第九期	自九月二十九日至十月十三日 (215—229)	32,305	1,942	874	484,575	29,130	13,110
第十期	自十月十四日至十月二十八日 (230—244)	33,985	2,128	958	509,775	31,920	14,370
第十一期	自十月二十九日至十一月十三日 (245—260)	37,240 碎米 2,400	2,380	1,071	372,400 碎米 12,000	38,080	17,136
第十二期	自十一月十四日至十二月二日 (261—279)	37,240	2,380	1,071	707,560	45,220	20,349
第十三期	自十二月三日至十二月九日 (280—286)	42,560	2,728	1,800	297,920	19,096	12,600
第十四期	自十二月十日至十二月十六日 (287—293)	47,740	2,840	1,874	334,180	19,880	13,118
第十五期	自十二月十七日至十二月二十三日 (294—300)	49,700	2,948	1,945	347,900	20,636	13,615
第十六期	自十二月二十四日至十二月三十日 (301—307)	51,700	3,028	1,998	361,130	21,196	13,986
第十七期	昭和四年 自十二月三十一日至一月六日 (308—314)	52,990	3,128	1,767	370,930	21,896	12,369
第十八期	自一月七日至一月十三日 (315—321)	52,990 碎米 3,217	3,172	1,792	158,970 碎米 12,868	22,204	12,544
第十九期	自一月十四日至一月二十日 至(322—328)	52,990	3,172	1,792	370,930	22,204	12,544
第二十期	自一月二十一日至一月二十七日 (329—335)	52,990	3,172	1,792	370,930	22,204	12,544
計					7,191,920 碎米 24,868	478,020	253,272

試驗期間に於ける飼料の總給與量は以上の如くなるも、實際上採食の際に於ける多少の散亂は免かれず。是等の差異の秤量査定は實施上頗る困難なるを以て、本試驗に於ては總給與量を以て採食量とせり。

四　管　　理

試驗用豚舍は長さ4間幅2間にして南北に流れ、內部は東側に幅4尺の通路を有し、同側外圍は2箇所に2尺(上部)と1尺(下部)の無双格子窓を設け通風並に採光に便す。屋內は奧行8尺間口6尺の4房に區分せられ、房の前面及後面は間明き2寸の竹格子、間仕切りは下部1尺を煉瓦、上部を板張とす。床は混凝土とし前方に傾斜を附し排尿に便す。

試驗豚は1房に2頭宛收容して運動をなさしめず。房內は每日朝夕2回掃除し清潔を保持したり。

飼料の給與は期間を定め、第一期より第十二期に至る間は1日3回、第十三期より第二十期に至る間(肥育期間)は1日4回に行ひ、每期體重を秤り之によりて飼料の給與量を定めたり。又飼養管理は常に同一の人をして之をなさしめたり。尙試驗期に於ける動物の健康狀態は常に良好なりき。

五　生體量の秤量

試驗豚の秤量は每期の初め午前十時と定め行ひたり。今每期に於ける試驗豚の體重變化の狀態を示せば次の如し。

1　甘藷加與區

期次	秤量月日	生體量 1號	生體量 2號	生體量 3號	生體量 4號	生體量 計	前回に比し增減 1號	前回に比し增減 2號	前回に比し增減 3號	前回に比し增減 4號	前回に比し增減 計	全增體重	平均1日1頭の增體重
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
試驗著手	昭和三年 四月六日 (91)	14,140	13,500	14,470	15,000	57,110	—	—	—	—	—	—	—
第一期	四月二十一日 (107)	17,620	16,500	16,880	18,750	69,750	3,480	3,000	2,410	3,750	12,640	12,640	211
第二期	五月六日 (122)	21,000	20,250	20,060	21,940	83,250	3,380	3,750	3,180	3,190	13,500	26,140	225
第三期	五月二十一日 (137)	24,370	22,880	21,380	25,120	93,750	3,370	2,630	1,320	3,180	10,500	36,640	175
第四期	六月六日 (153)	27,000	24,380	23,250	28,120	102,750	2,630	1,500	1,870	3,000	9,000	45,640	141
第五期	六月二十一日 (168)	30,380	28,130	26,250	31,870	116,630	3,380	3,750	3,000	3,750	13,880	59,520	231
第六期	七月六日 (183)	34,130	32,250	28,500	36,000	130,880	3,750	4,120	2,250	4,130	14,250	73,770	238
第七期	七月二十一日 (198)	37,870	34,870	32,630	39,000	144,370	3,740	2,620	4,130	3,000	13,490	87,260	225
第八期	八月六日 (214)	42,000	39,000	36,750	42,750	160,500	4,130	4,130	4,120	3,750	16,130	103,390	255

期次	秤量月日	生體量 1號	2號	3號	4號	計	前回に比し増減 1號	2號	3號	4號	計	全増體重	平均1日1頭の増體重
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
第九期	昭和三年 八月二十一日 (229)	46,870	44,630	40,880	48,370	180,750	4,870	5,630	4,130	5,620	20,250	123,640	338
第十期	九月六日 (245)	50,630	49,500	45,000	53,620	198,750	3,760	4,870	4,120	5,250	18,000	141,640	281
第十一期	九月二十一日 (260)	57,380	54,750	51,380	59,620	223,130	6,750	5,250	6,380	6,000	24,380	166,020	406
第十二期	十月十日 (279)	64,120	64,500	59,630	69,000	257,250	6,740	9,750	8,250	9,380	34,120	200,140	448
第十三期	十月十七日 (286)	67,120	67,120	63,750	68,630	266,620	3,000	2,620	4,120	(一) 370	9,370	209,510	335
第十四期	十月二十四日 (293)	69,370	69,370	66,380	68,630	273,750	2,250	2,250	2,630	0	7,130	216,640	255
第十五期	十月三十一日 (300)	71,250	72,000	67,130	69,000	279,380	1,880	2,630	0,750	370	5,630	222,270	201
第十六期	十一月七日 (307)	74,620	74,620	68,250	72,000	289,490	3,370	2,620	1,120	3,000	10,110	232,380	361
第十七期	十一月十四日 (314)	76,500	75,000	70,880	72,750	295,130	1,880	0,380	2,630	0,750	5,640	238,020	201
第十八期	十一月二十一日 (321)	79,500	81,370	76,880	78,750	316,500	3,000	6,370	6,000	6,000	21,370	259,390	763
第十九期	十一月二十八日 (328)	82,130	84,000	81,000	83,620	330,750	2,630	2,630	4,120	4,870	14,250	273,640	509
第二十期	十二月五日 (335)	84,750	88,500	84,750	85,130	343,130	2,620	4,500	3,750	1,510	12,380	286,020	442
計及平均		—	—	—	—	85,783	70,610	75,000	70,280	70,130	286,020	71,505	294

備考　秤量月日の欄中括弧内は供試豚の生後日數を示す。以下之に準す。

2　麩加與區

期次	秤量月日	生體量 5號	6號	7號	計	前回に比し増減 5號	6號	7號	計	全増體重	平均1日1頭の増體重
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
試驗著手	昭和三年 五月二十九日 (91)	15,000	12,300	15,800	43,100	—	—	—	—	—	—
第一期	六月十四日 (108)	17,100	14,700	17,300	49,100	2,100	2,400	1,500	6,000	6,000	125
第二期	六月二十九日 (123)	20,000	16,500	21,200	57,700	2,900	1,800	3,900	8,600	14,600	191

期次	秤量月日	生體量				前回に比し増減				全増體重	平均1日1頭の増體重
		5號	6號	7號	計	5號	6號	7號	計		
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
第三期	昭和三年 七月十四日 (138)	23,600	18,700	24,600	66,900	3,600	2,200	3,400	9,200	23,800	204
第四期	七月二十九日 (153)	27,100	21,300	29,200	77,600	3,500	2,600	4,600	10,700	34,500	238
第五期	八月十四日 (169)	30,000	23,200	35,300	88,500	2,900	1,900	6,100	10,900	45,400	227
第六期	八月二十九日 (184)	33,400	24,800	38,800	97,000	3,400	1,600	3,500	8,500	53,900	189
第七期	九月十四日 (200)	36,500	29,200	46,800	112,500	3,100	4,400	8,000	15,500	69,400	323
第八期	九月二十九日 (215)	44,000	33,400	51,000	128,400	7,500	4,200	4,200	15,900	85,300	353
第九期	十月十四日 (230)	50,000	36,000	58,000	144,000	6,000	2,600	7,000	15,600	100,900	347
第十期	十月二十九日 (245)	59,000	43,000	67,000	169,000	9,000	7,000	9,000	25,000	125,900	556
第十一期	十一月十四日 (261)	60,000	46,000	68,000	174,000	1,000	3,000	1,000	5,000	130,900	104
第十二期	十二月三日 (280)	71,400	50,800	79,000	201,200	11,400	4,800	11,000	27,200	158,100	477
第十三期	十二月十日 (287)	77,000	53,600	84,000	214,600	5,600	2,800	5,000	13,400	171,500	638
第十四期	十二月十七日 (294)	81,800	56,400	90,000	228,200	4,800	2,800	6,000	13,600	185,100	648
第十五期	十二月二十四日 (301)	82,400	58,600	90,000	231,000	600	2,200	0	2,800	187,900	133
第十六期	十二月三十一日 (308)	84,200	62,000	93,000	239,200	1,800	3,400	3,000	8,200	196,100	390
第十七期	昭和四年 一月七日 (315)	87,600	66,200	93,600	247,400	3,400	4,200	600	8,200	204,300	390
第十八期	一月十四日 (322)	93,400	66,800	100,800	261,000	5,800	600	7,200	13,600	217,900	648
第十九期	一月二十一日 (329)	100,000	74,000	110,000	284,000	6,600	7,200	9,200	23,000	240,900	1,095
第二十期	一月二十九日 (336)	101,000	75,000	111,000	287,100	1,100	1,000	1,000	3,100	244,000	148
計及平均		—	—	—	95,700	86,100	62,700	95,200	244,000	81,333	333

3 米糖加與區

期次	秤量月日	生體量 8號	生體量 9號	生體量 計	前回に比し増減 8號	前回に比し増減 9號	前回に比し増減 計	全增體重	平均1日1頭の增體重
		瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
試驗着手	昭和三年 五月二十九日 (91)	13,000	16,300	29,300	—	—	—	—	—
第一期	六月十四日 (108)	15,800	17,700	33,500	2,800	1,400	4,200	4,200	131
第二期	六月二十九日 (123)	19,000	20,300	39,300	3,200	2,600	5,800	10,000	193
第三期	七月十四日 (138)	21,800	21,200	43,000	2,800	900	3,700	13,700	123
第四期	七月二十九日 (153)	25,000	25,000	50,000	3,200	3,800	7,000	20,700	233
第五期	八月十四日 (169)	28,300	28,900	57,200	3,300	3,900	7,200	27,900	225
第六期	八月二十九日 (184)	30,300	31,700	62,000	2,000	2,800	4,800	32,700	160
第七期	九月十四日 (200)	37,900	37,300	75,200	7,600	5,600	13,200	45,900	413
第八期	九月二十九日 (215)	43,100	42,000	85,100	5,200	4,700	9,900	55,800	330
第九期	十月十四日 (230)	47,000	45,400	92,400	3,900	3,400	7,300	63,100	243
第十期	十月二十九月 (245)	55,200	53,400	108,600	8,200	8,000	16,200	79,300	540
第十一期	十一月十四日 (261)	55,200	55,600	110,800	0	2,200	2,200	81,500	69
第十二期	十二月三日 (280)	64,000	65,400	129,400	8,800	9,800	18,600	100,100	489
第十三期	十二月十日 (287)	70,000	70,000	140,000	6,000	4,600	10,600	110,700	757
第十四期	十二月十七日 (294)	71,600	73,000	144,600	1,600	3,000	4,600	115,300	329
第十五期	十二月二十四日 (301)	72,400	76,600	149,000	800	3,600	4,400	119,700	314
第十六期	十二月三十一日 (308)	76,200	79,800	156,000	3,800	3,200	7,000	126,700	500
第十七期	昭和四年 一月七日 (315)	80,400	83,600	164,000	4,200	3,800	8,000	134,700	571
第十八期	一月十四日 (322)	82,000	87,000	169,000	1,600	3,400	5,000	139,700	357
第十九期	一月二十一日 (329)	89,400	93,000	182,400	7,400	6,000	13,400	153,100	957
第二十期	一月二十八日 (336)	89,800	94,000	183,800	400	1,000	1,400	154,500	100
計及平均		—	—	91,900	76,800	77,700	154,500	77,250	317

4 大豆粕

期次	秤量月日	生體量		
		10號	11號	計
		瓦	瓦	瓦
試驗著手	昭和三年 五月二十九日 (91)	15,000	13,800	28,800
第一期	六月十四日 (108)	16,800	17,800	34,600
第二期	六月二十九日 (123)	21,300	22,000	43,300
第三期	七月十四日 (138)	26,000	25,700	51,700
第四期	七月二十九日 (153)	29,200	29,500	58,700
第五期	八月十四日 (169)	34,100	34,300	68,400
第六期	八月二十九日 (184)	39,700	39,100	78,800
第七期	九月十四日 (200)	46,000	46,300	92,300
第八期	九月二十九日 (215)	48,100	49,000	97,100
第九期	十月十四日 (230)	51.400	55,000	106,400
第十期	十月二十九日 (245)	58,400	60,600	119,000
第十一期	十一月十四日 (261)	59,200	62,400	121,600
第十二期	十二月三日 (280)	68,200	68,200	136,400
第十三期	十二月十日 (287)	71,000	71,000	142,000
第十四期	十二月十七日 (294)	74,400	73,000	147,400
第十五期	十二月二十四日 (301)	76,400	75,000	151,400
第十六期	十二月三十一日 (308)	79,400	77,000	156,400
第十七期	昭和四年 一月七日 (315)	79,600	79,000	158,600
第十八期	一月十四日 (322)	78,800	80,000	158,800
第十九期	一月二十一日 (329)	87,600	86,400	174,000
第二十期	一月二十八日 (336)	90,000	87,000	177,000
計及平均		—	—	88,500

加與區

前回に比し增減			全增體重	平均1日1頭の增體重
10號	11號	計		
瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
—	—	—	—	—
1,800	4,000	5,800	5,800	181
4,500	4,200	8,700	14,500	290
4,700	3,700	8,400	22,900	280
3,200	3,800	7,000	29,900	233
4,900	4,800	9,700	39,600	303
5,600	4,800	10,400	50,000	347
6,300	7,200	13,500	63,500	422
2,100	2,700	4,800	68,300	160
3,300	6,000	9,300	77,600	310
7,000	5,600	12,600	90,200	420
800	1,800	2,600	92,800	81
9,000	5,800	14,800	107,600	389
2,800	2,800	5,600	113,200	400
3,400	2,000	5,400	118,600	386
2,000	2,000	4,000	122,600	286
3,000	2,000	5,000	127,600	357
200	2,000	2,200	129,800	157
(−) 800	1,000	200	130,000	14
8,800	6,400	15,200	145,200	1,084
2,400	600	3,000	148,200	214
75,000	73,200	148,200	74,100	304

本表は各區共生後4箇月目より滿8箇月間飼養し、最終の8週間肥育したる成績にして、更に之を平均1頭につき比較を試むる時は次表の如し。

區分	試驗著手時體重（生後3箇月）	試驗終了時體重（生後11箇月）	增加體重	試驗期間に於ける平均1日の增加體重
	瓦	瓦	瓦	瓦
甘藷加與區	14,278	85,783	71,505	294
麬加與區	14,367	95,700	81,333	333
米糠加與區	14,650	91,900	77,250	317
大豆粕加與區	14,400	88,500	74,100	304

卽ち試驗期間に於ける增加體重は麬加與區の81,333瓦を最大とし米糠加與區の77,250瓦之に次ぎ、大豆粕加與區の74,100瓦、甘藷加與區の71,505瓦と相順次し、試驗終了時に於ける體重も又其順序を示せり。

六　增體重と飼料の澱粉價及其價額

肉豚の飼養は常に經濟と離るべからざるが故に、次に飼養成績に重要なる關係を有する飼養中に於ける生體重の增量と給與せる飼料の價額竝に澱粉價との關係に就き示さんとす。

本試驗に供用せる飼料價の算出は下記の價格(百瓩に付)による。

酒粕	0.373円	甘藷蔓	0.536円
麬	7.500円	大豆粕	9.100円
米糠	8.400円	碎米	12.000円
甘藷	10.900円		

1. 飼料の總給與量竝に澱粉價及其價額

（イ）甘藷加與區（4頭分）

飼料名	總給與量	澱粉價	價額
	瓦	瓦	円
酒粕	14,532,922	697,580	54.207
甘藷蔓	863,601	40,589	4.628
甘藷	1,760,917	348,661	33.457
計	—	1,086,830	92.292

（ロ）麬加與區（3頭分）

飼料名	總給與量	澱粉價	價額
	瓦	瓦	円
酒粕	10,195,720	489,394	38.030
碎米	36,884	30,245	4.426
甘藷蔓	678,749	31,901	3.638
麬	649,694	276,770	48.727
計	—	828,310	94.821

（ハ）米糠加與區（2頭分）

飼料名	總給與量	澱粉價	價額
	瓦	瓦	円
酒粕	6,640,695	318,753	24.770
碎米	24,154	19,806	2.898
甘藷蔓	441,944	20,771	2.369
米糠	260,692	178,313	21.898
計	—	537,643	51.935

（ニ）大豆粕加與區（2頭分）

飼料名	總給與量	澱粉價	價額
	瓦	瓦	円
酒粕	7,191,920	345,212	26.826
碎米	24,868	20,392	2.984
甘藷蔓	478,020	22,467	2.562
大豆粕	253,272	189,701	23.048
計	—	577,772	55.420

2. 增體重百瓩に對する飼料費及澱粉價

前表により百瓩の生體重を增加せるに要せし各區の飼料費及澱粉

價を比較するに、次の如く飼料費に於ては甘藷加與區最も有利にして、米糠加與區之に次ぎ、大豆粕加與區皴加與區と相順次せるを見る。

區分	澱粉價 (瓩)	飼料費 (円)
甘藷加與區	379,984	32.267
皴加與區	339,471	38.861
米糠加與區	347,989	33.615
大豆粕加與區	389,859	37.395

更に又增體重百瓩に對する各區の飼料消費量を比較すれば下の如し。

區分＼飼料名	酒粕 (瓩)	甘藷蔓 (瓩)	甘藷 (瓩)	皴 (瓩)	米糠 (瓩)	大豆粕 (瓩)
甘藷加與區	5,081,085	301,972	619,158	—	—	—
皴加與區	4,178,574 碎米 15,116	278,176	—	266,268	—	—
米糠加與區	4,298,184 碎米 15,627	286,048	—	—	168,733	—
大豆粕加與區	4,852,847 碎米 16,780	322,550	—	—	—	170,898

七 收支計算

本試驗の結果により平均1頭に對する收支計算を見るに、次表の如く甘藷加與區最も有利にして十圓五十三錢四厘の利益を示し、米糠加與區の十圓三十四錢之に次ぎ、大豆粕加與區の七圓十一錢七厘、皴加與區の六圓六十一錢九厘と相順次し、其利益に於ては米糠加與區を除き他は增體重と全く相反する結果を見たり。

區分	收入 增體重 (瓩)	收入 價額 (円)	支出 飼料費 (円)	差引益金 (円)
甘藷加與區	71,505	33.607	23.073	10.534

區分	收入 增體重 (瓩)	收入 價額 (円)	支出 飼料費 (円)	差引益金 (円)
皴加與區	81,333	38.226	31.607	6.619
米糠加與區	77,250	36.307	25.968	10.340
大豆粕加與區	74,100	34.827	27.710	7.117

備考　肉豚價格は時價百瓩四十七圓の計算とす。

八 屠殺及解體

各區の發育比較に就ては既に前述の如くなるが、更に之が屠殺解體を行ひ以て其肉、脂肪、骨、內臟等の重量竝に品質につき比較研究せしに次の如し。

1. 絕食による減體重

屠殺に先ち24時間絕食したるに體重の減耗次の如し。

區分	番號	生體重 絕食前 (瓩)	生體重 絕食後 (瓩)	減體重 (瓩)	減耗步合 (%)
甘藷加與區	1	84,750	81,000	3,750	—
	2	88,500	82,130	6,370	—
	3	84,750	78,180	6,570	—
	4	85,130	80,440	4,690	—
	平均	85,783	80,438	5,345	6.23
皴加與區	5	104,800	99,400	5,400	—
	6	80,400	74,800	5,600	—
	7	111,600	105,800	5,800	—
	平均	98,933	93,333	5,600	5.66
米糠加與區	8	93,600	88,000	5,600	—
	9	99,400	93,000	6,400	—
	平均	96,500	90,500	6,000	6.22
大豆粕加與區	10	92,400	88,000	4,400	—
	11	92,400	88,200	4,200	—
	平均	92,400	88,100	4,300	4.65

備考　甘藷加與區以外の各區に於て絕食前體重が飼養試驗終了時の體重と一致せざるは、作業の都合上尙16日間飼養せるによるものとす。

前表により絶食により生したる體重の平均減耗率は、大豆粕加與區最も少く絶食前體重に對し4.65%にして、麬加與區の5.66%之に次ぎ、米糠加與區の6.22%、甘藷加與區の6.23%と相順次せり。

2. 屠殺解體時に於ける豚體各部の重量比較

試驗豚の屠殺は、本島在來の法式により料血刀を以て咽喉部を刺し動靜脈を切斷して放血致死せしめ、湯剝法により處理したる後解體秤量せり。其結果次の如し。

（イ） 甘 藷 加 與 區

番號 / 區分	一 號	二 號	三 號	四 號	計	平 均	生體に對する步合
	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	%
生體重	81,000	82,130	78,180	80,440	321,750	80,438	—
屠體重	67,680	68,810	65,800	66,980	269,270	67,318	83.69
肉	56,290	56,700	53,700	55,540	222,230	55,558	69.07
腹壁脂肪	2,920	3,100	2,810	3,110	11,940	2,985	3.71
骨	7,540	8,440	8,430	7,690	32,100	8,025	9.98
目減	930	570	860	640	3,000	750	0.93
內臟重	9,380	9,000	9,000	9,560	36,940	9,235	11.48
放血重	2,440	3,000	2,260	2,440	10,140	2,535	3.15
毛垢及目減	1,500	1,320	1,120	1,460	5,400	1,350	1.78

備考 1. 屠體重とは生體より毛垢血液及內臟を除去したるものを云ふ。
2. 目減とは解體の際生したる亡失量を云ふ。

（ロ） 麬 加 與 區

番號 / 區分	五 號	六 號	七 號	計	平 均	生體に對する步合
	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	%
生體重	99,400	74,800	105,800	280,000	93,333	—
屠體重	82,200	61,400	87,600	231,200	77,067	82.57
肉	69,470	51,680	72,710	193,860	64,620	69.24
腹壁脂肪	2,290	1,100	2,760	6,150	2,050	2.20
骨	9,900	8,260	11,150	29,310	9,770	10.47
目減	540	360	980	1,880	627	67
內臟重	12,400	9,400	13,400	35,200	11,733	12.57
放血重	3,200	2,800	3,000	9,000	3,000	3.21
毛垢及目減	1,600	1,200	1,800	4,600	1,533	1.64

（ハ） 米 糠 加 與 區

番號 / 區分	八 號	九 號	計	平 均	生體重に對する步合
	瓦	瓦	瓦	瓦	%
生體重	88,000	93,000	181,000	90,500	—
屠體重	74,600	78,200	152,800	76,400	84.42
肉	63,610	66,840	130,450	65,225	72.07
腹壁脂肪	2,250	2,700	4,950	2,475	2.73
骨	8,220	8,200	16,420	8,210	9.07
目減	520	460	980	490	54
內臟重	9,500	10,800	20,300	10,150	11.22
放血重	2,700	2,600	5,300	2,650	2.93
毛垢及目減	1,200	1,400	2,600	1,300	1.44

（ニ） 大豆粕加與區

番號 / 區分	十 號	十一號	計	平 均	生體重に對する步合
	瓦	瓦	瓦	瓦	%
生體重	88,000	88,200	176,200	88,100	—
屠體重	75,000	75,400	150,400	75,200	85.36
肉	63,440	63,660	127,100	63,550	72.13
腹壁脂肪	2,570	2,260	4,830	2,415	2.74
骨	861	9,030	17,640	8,820	10.01
目減	380	450	830	415	47
內臟重	9,400	9,000	18.400	9,200	10.44
放血重	2,600	2,600	5,200	2,600	2.95
毛垢及目減	1,000	1,200	2,200	1,100	1.25

前表により生體重に對する各部の重量を比較するに、次表の如くなるが、其内最も重要なる關係を有する肉步合に於ては、大豆粕加與區と米糠加與區は殆と同一にして72%餘を示し、麬加與區と甘藷加與區亦殆と同一にして69%餘を示し此兩者の間に於ても其差僅かに3%に過ぎずして、全體に於て格段の差を認めざりき。

區分	甘藷加與區	麬加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
	%	%	%	%
屠體重	83.69	82.57	84.42	85.36
肉	69.07	69.24	72.07	72.13
腹壁脂肪	3.71	2.20	2.73	2.74
骨	9.98	10.47	9.07	10.01
目減	93	67	54	47
內臟重	11.48	12.57	11.22	10.44
放血重	3.15	3.21	2.93	2.95
毛垢及目減	1.78	1.64	1.44	1.25

3. 肉及脂肪の品質比較

肉及脂肪の品質に就ては農藝化學科奥村技師及樋口技手の試驗による理化學的成績を擧ぐ。

（イ） 肉

區分	水分	粗蛋白質	粗脂肪
	%	%	%
甘藷加與區	77.24	21.04	2.13
麬加與區	76.18	21.94	1.72
米糠加與區	77.55	20.62	2.06
大豆粕加與區	74.87	20.80	4.64

備考　供試筋肉は大腰筋とす。

上表によれば筋肉牛粗蛋白質の割合は「麬加與區」最も多く、甘藷加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、米糠加與區と順次に少し。粗脂肪に就ては大豆粕加與區最も多く、甘藷加與區之に次ぎ、米糠加與區、麬加與區と相順次せり。

尙肉質の點より見るに甘藷加與區は脂肪純白にして肉締り最も良好なるも、白肉の割合赤肉に比し他區より比較的に多きを見たり。麬加與區と大豆粕加與區は略ぼ同一にして之に次ぎ、米糠加與區は脂肪最も柔軟にして稍〻黄色を帶び肉締り又不良にして加工用としては良好ならず。

（ロ） 脂　　　　肪

區分	熔融點	凝固點
	度	度
甘藷加與區	47	27
麬加與區	47	24
米糠加與區	43	12
大豆粕加與區	45	23

備考　供試脂肪は腹壁脂肪とす。

本表によれば熔融點は甘藷加與區と麬加與區は同一にして最も高く、大豆粕加與區之に次ぎ、米糠加與區最も低し。

凝固點は甘藷加與區最も高く、麬加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、米糠加與區と相順次せり。

九　總　　　括

以上試驗の成績を總括すれば次の如し。

（一） 試驗期間は生後4箇月目より同11箇月に至る8箇月間とす。

（二） 試驗期間に於ける平均1頭の體重增加の狀況は次表の如く、麬加與區最も優良にして、米糠加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、甘藷加與區と相順次せり。

區分	試驗著手時體重	試驗終了時體重	增體重	平均1日の增體重
	瓦	瓦	瓦	瓦
麬加與區	14,367	95,700	81,333	333
米糠加與區	14,650	91,900	77,250	317
大豆粕加與區	14,400	88,500	74,100	304
甘藷加與區	14,278	85,783	71,505	294

（三） 體重百瓩を增加するに要したる飼料量竝に澱粉價及其價額は次の如く、價額に於ては甘藷加與區最も安價にして、米糠加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、麬加與區と相順次して高價なり。又澱粉價の消費量に就ては麬加與區最も少く、米糠加與區之に次ぎ、

甘藷加與區、大豆粕加與區と順次に多量を要したり。

（イ） 飼料消費量

區分＼飼料名	酒粕	甘藷蔓	甘藷	皺	米糠	大豆粕
	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
甘藷加與區	5,081,085	301,972	619,158	—	—	—
皺加與區	4,178,574 碎米 15,116	278,176	—	266,268	—	—
米糠加與區	4,298,184 碎米 15,627	286,048	—	—	168,733	—
大豆粕加與區	4,852,847 碎米 16,780	322,550	—	—	—	170,898

（ロ） 澱粉價及飼料價

區分	澱粉價	飼料費
	瓦	円
甘藷加與區	379,984	32.267
皺加與區	339,471	38.861
米糠加與區	347,989	33.615
大豆粕加與區	339,859	37.395

（四） 平均1頭に對する收支計算を見るに次表の如く甘藷加與區最も有利にして、米糠加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、皺加與區と相順次せり。

區分	收入		支出	差引益金
	增體重	價額		
	瓦	円	円	円
甘藷加與區	71,505	33.607	23.073	10.534
皺加與區	81,333	38.226	31.607	6.619
米糠加與區	77,250	36.307	25.968	10.340
大豆粕加與區	74,100	34.827	27.710	7.117

（五） 生體重に對する絶食による體重の減耗步合は次の如く、大豆粕加與區最も少く、皺加與區之に次ぎ、米糠加與區、甘藷加與區と相順次せり。

甘藷加與區	皺加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
%	%	%	%
6.23	5.66	6.22	4.65

（六） 生體に對する解體せる各部の步合は次表の如くなるが、其中最も重要なる關係を有する肉步合に於ては、大豆粕加與區と米糠加與區とは殆ど同一にして72%餘を示し、皺加與區と甘藷加與區亦殆ど同一にして69%餘を示し、此兩者の間に於ても其差僅かに3%にして全體に於て格段の相違を認めざりき。

區分	甘藷加與區	皺加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
	%	%	%	%
肉	69.07	69.24	72.07	72.13
腹壁脂肪	3.71	2.20	2.73	2.74
骨	9.98	10.47	9.07	10.01
內臟	11.48	12.57	11.22	10.44

（七） 筋肉中粗蛋白質の含量は皺加與區最も多く、甘藷加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、米糠加與區と相順次せり。

甘藷加與區	皺加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
%	%	%	%
21.04	21.94	20.62	20.80

（八） 筋肉中粗脂肪の含量は、大豆粕加與區最も多く、甘藷加與區之に次ぎ、米糠加與區、皺加與區と相順次せり。

甘藷加與區	皺加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
%	%	%	%
2.13	1.72	2.06	4.64

（九） 筋肉の成分に就ては前2項の如くなるも、之を肉質の點より見るに甘藷加與區は脂肪純白にして肉締り最も良好なるも、白肉

の割合赤肉に比し他區より比較的に多きを見たり。麬加與區と大豆粕加與區は略ぼ同一にして之に次ぎ、米糠加與區は脂肪最も柔軟にして稍ゝ黄色を帶び肉締り亦不良にして加工用としては良好ならず。

（一〇） 脂肪の熔融點は次の如く、甘藷及麬加與區同一にして最も高く、大豆粕加與區之に次ぎ、米糠加與區最も低し。

甘藷加與區	麬加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
度 47	度 47	度 43	度 45

（一一） 脂肪の凝固點は次の如く、甘藷加與區最も高く、麬加與區之に次ぎ、大豆粕加與區、米糠加與區と相順次せり。

甘藷加與區	麬加與區	米糠加與區	大豆粕加與區
度 27	度 24	度 12	度 23

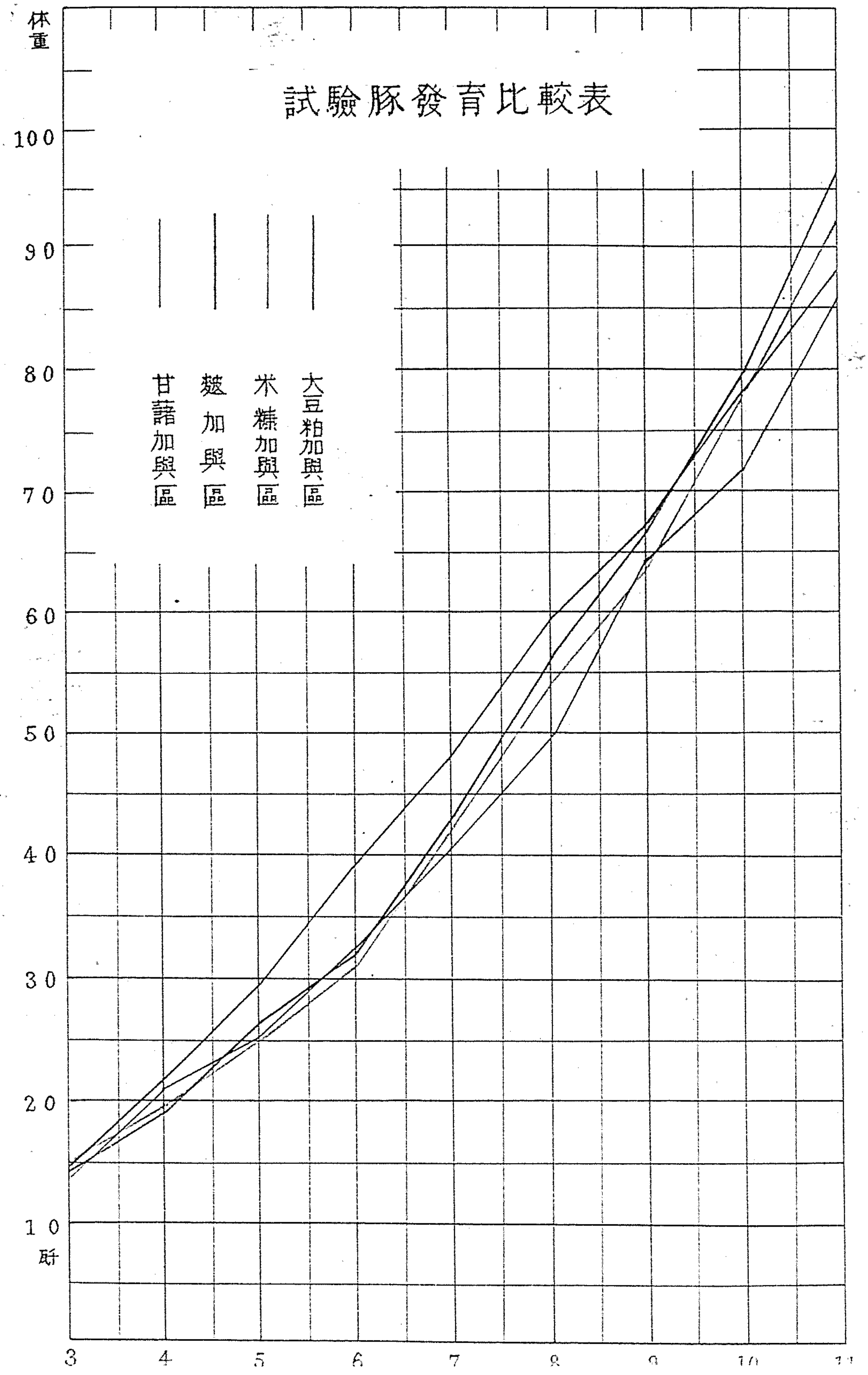
終りに臨み、本試驗施行に當り指導を受けたる畜産科長柳川技師竝に作業に當り助力を與へられし元林雇、坂本助手に對し感謝の意を表す。

附　　錄

本島に於ける酒粕の生産高

本島に於ける酒粕の生産高に就き總督府專賣局にて調査したる所によれば、昭和三年度に於て約30,858,375瓩（164,578石）にして參考の爲之を各酒工場別に示せば次表の如し。

酒工場別	數量 瓩	（石）
臺北	6,814,500.0	（36,344）
樹林	7,818,375.0	（41,698）
宜蘭	2,654,250.0	（14,156）
臺中	5,297,250.0	（28,252）
埔里	510,750.0	（2,724）
嘉義	249,937.5	（1,333）
臺南	1,556,062.5	（8,299）
屏東	4,615,875.0	（24,618）
恒春	337,312.5	（1,799）
臺東	277,687.5	（1,481）
花蓮港	726,375.0	（3,874）
計	30,858,375.0	（164,578）



試驗豚發育比較表
体重
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
斤
甘藷加與區
麩加與區
朮糠加與區
大豆粕加與區
3
4
5
6
7